

第10回 消化管CT 技術研究会

— To the Future of CTC —



当番世話人である
山本修司氏の挨拶

2015年5月23日(土)、新宿安田生命ホール(東京都新宿区)において、第10回消化管CT技術研究会が開催された。同研究会は平野雄士氏(小樽掖済会病院)が代表世話人を務め、CT colonography(以下、CTC)を施行している施設、施行を予定している施設などが疑問点や問題点について意見交換するとともに、最新技術の情報を共有する場として設けられた。2010年6月26日(土)に約160人が参加し、第1回の研究会を開催。以降、年2回のペースで開催され、CTCの普及とともに研究会の規模も拡大してきた。

10回目となる今回の当番世話人は、山本修司氏(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター外来研究員)が務め、テーマには、「To the Future of CTC」が掲げられた。

吉川秀司氏(大阪医科大学附属病院)の総合司会により進行されたプログラムは、講演やパネルディスカッション、一般演題のほか、タブレットを用いて参加者が解析を体験できるセッションなどで構成された。山本氏の挨拶に続き、まず、鈴木雅裕氏(国立がん研究センター中央病院)が司会を務め、船津大輔氏(医療法人社団健診会理事)による講演「大腸CT、導入から3年の軌跡」が行われた。この講演において船津氏は、CTCには多職種がかかわるため、施設内での周知活動が大事だと述べたほか、対外的な営業活動の重要性や経営面から見たメリットなどを説明した。

続く一般演題1では、松井大樹氏(北福島医療センター)が座長を務め、4人の演者による発表が行われた。このセッションでは、鳥本温子氏(小樽掖済会病院)と平野雄士氏が表面型腫瘍に関して報告したほか、岡島美佳氏(群馬県立県民健康科学大学)が、読影者の注視点に関する調査結果について述べた。



代表世話人：
平野雄士氏
(小樽掖済会病院)



総合司会：
吉川秀司氏
(大阪医科大学
附属病院)

さらに、村田浩毅氏(みたき総合病院)は、CTCを行う診療放射線技師の教育について発表した。

次いで行われたラン
チョンセミナーでは、

三原嵩大氏(東京メディカルクリニック)が司会を務め、坂本 崇氏(済生会熊本病院)が、ポリープの自動計測の精度向上のためのファントムによる検討結果を紹介した。

午後の一般演題2は、松田勝彦氏(済生会熊本病院予防医療センター)が座長を務め、5つの演題が用意された。まず、恒川明和氏(大垣市民病院)が自施設におけるCTC導入の経緯と現状を発表した。また、平野智之氏(川崎市立多摩病院)、神場紀仁氏(日高病院)、岩野晃明氏(徳島健生病院)、秋田裕介氏(亀田総合病院)は、CTCでの炭酸ガス送気に関して自施設の検討結果を報告した。

この後、特別企画「腸管拡張を考える—パネルディスカッション」が行われた。このセッションでは、山崎通尋氏(山下病院)と坂本氏が司会を務め、三原氏と安田貴明氏(長崎県上五島病院)、松田氏が自動炭酸ガス送気装置による腸管拡張のノウハウを紹介。さらに、総合討論を行い、会場の参加者も交えて意見交換した。

パネルディスカッション後には、全員参加型企画「みんなで解析CTC！」が設けられた。これは、CTC解析アプリケーションと症例データがインストールされたタブレットを参加者に配布し、読影や解析を疑似体験するほか、同じく配布されたア



12社が参加したメーカー展示

ンサーパッドで質問に回答するもので、名物企画となっている。今回は、小倉敏裕氏（群馬県立県民健康科学大学）と鈴木氏が司会を務め、CASE1から5まで出題された。

次いで、エーザイ/エーディアセッションとして2題の講演が設けられた。先に山本氏が司会を務め、仁木 登氏（徳島大学大学院）による講演「胸腹部CT検診のコンピュータ支援診断」が行われた。仁木氏は、肺がんのCT検診におけるCADシステムの研究開発などを解説した。続く2題目の講演では、平野雄士氏を司会に、本田徹郎氏（長崎みなとメディカルセンター市民病院）が「大腸CTをどのように活用していくか？ —地域医療で活躍する大腸CTの紹介」をテーマに講演した。本田氏は、前任の長崎県上五島病院におけるCTCの経験を報告し、限られた医療資源の中で有用な検査法であると述べた。

すべてのプログラム終了後、平野雄士氏が閉会の挨拶をした。平野雄士氏は、第1回の研究会開催時から5年間で



閉会後の記念撮影

CTCの技術開発が進み、「過信はできないがあなどれない検査」になっていると述べ、CTCの有用性の確立に向け、他学会・研究会と連携しながら、活動していきたいとまとめた。なお、次回の第11回から坂本 崇氏が代表世話人となる。次回は、2015年10月17日（土）、北海道自治労会館（札幌市）を会場に、三原嵩大氏が当番世話人を務め開催される。

■ 講演「大腸CT, 導入から3年の軌跡」



司会：
鈴木雅裕氏
(国立がん研究センター中央病院)



船津大輔氏
(医療法人社団健診会理事)



座長：
松井大樹氏
(北福島医療センター)



島本温子氏
(小樽掖済会病院)



平野雄士氏
(小樽掖済会病院)



岡島美佳氏
(群馬県立
県民健康科学大学)



村田浩毅氏
(みたき総合病院)

■ 一般演題1

■ ランチョンセミナー 共同研究報告



司会：
三原嵩大氏
(東京メディカル
クリニック)



坂本 崇氏
(済生会熊本病院)



座長：
松田勝彦氏
(済生会熊本病院
予防医療センター)



恒川明和氏
(大垣市民病院)



平野智之氏
(川崎市立多摩病院)



神場紀仁氏
(日高病院)



岩野晃明氏
(徳島健生病院)



秋田裕介氏
(亀田総合病院)

■ 特別企画「腸管拡張を考える —パネルディスカッション」



座長：
山崎通尋氏
(山下病院)



坂本 崇氏
(済生会熊本病院)



三原嵩大氏
(東京メディカル
クリニック)



安田貴明氏
(長崎県
上五島病院)



松田勝彦氏
(済生会熊本病院
予防医療センター)

■ 特番！ タブレット使用
全員参加型企画
「みんなで解析CTC！」



司会：小倉敏裕氏
(群馬県立県民健康科学大学)

■ エーザイ/エーディアセッション



司会：山本修司氏
(国立がん研究センターがん予防・
検診研究センター外来研究員)



仁木 登氏
(徳島大学大学院)



司会：
平野雄士氏
(小樽掖済会病院)



本田徹郎氏
(長崎みなとメディカル
センター市民病院)



司会：鈴木雅裕氏
(国立がん研究センター中央病院)